

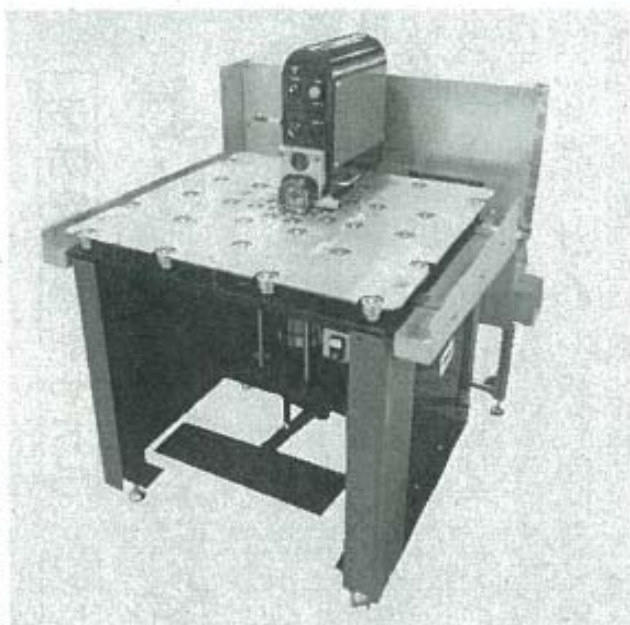
1.6mmの鋼板にも対応

卓上型バリ取り・面取り加工機

板金向けなど顧客拡大

山科精器、海外市場視野

【大津】山科精器（滋賀県栗東市、大日陽一郎社長、077・558・2311）は、厚さ1・6ミリの薄い鋼板にも対応する卓上型のバリ取り・面取り加工機「エッジナイフ」を開発した。従来の造船向けだけでなく、薄板を加工する板金加工向けなどにも顧客層を拡大する。価格は320万円（消費税抜き）程度。中国など海外市場も視野に入れ、2017年度に50台の販売を目指す。



エッジナイフは台の上に鋼板を置き、中央の主軸カッターに鋼板の側面を当てる。「鋼板

送り装置」を備えており、作業者は手を添えて鋼板の向きを変える

特殊車両・変電所設備などの加工向けに大幅に引き合いが増えた

（新投入のバリ取り・面取り加工機）

だけで、バリ取り加工やR面・C面取り加工を均一な品質で実現できる。

従来機「卓上R面取り機」と比べ、主軸部分の切削チップ形状を最適化して、薄板の加工に対応した。また、送り装置のローラー駆動部分を小型化することで、鋼板の反り返りを抑え、加工精度を高

めている。操作性の面では、従来は主軸部分の昇降などに二つのペダル操作が必要だったが、操作ペダルを一つにして、作業者の負担をさらに軽減した。

従来機では最薄でも6ミリまでしか対応していなかったため、需要先が造船向け中心に限られていた。新型機により薄板に対応することで顧客の幅が大きく広がる。

すでに、特殊車両や電車の内部に搭載する設備のほか、放電対策が重視される変電所の設備などの加工向けに、引き合いが増えているという。